

Rotary



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

会長 茶谷 勝

幹事 岩崎 正人

株式会社野澤木工
代表取締役社長
野澤 良民氏



公一 奉仕プロジェクト常任委員
社職 業奉仕賞に野澤木工社長
開社 務管理課長の永田慎太郎
かれ務表表彰式で茶谷会長から
た表表彰式で茶谷会長から

1月は職業奉仕月間
職業奉仕賞二人に贈呈



魚津市施設管理公社
総務管理課長
永田慎太郎氏

〈ひとこと〉表彰していただきありがとうございます。社業は会長の親父と二人三脚で頑張っております。表彰いただくきっかけとなった地域での活動は、4つの小学校が統合してできたよつば小学校の初代PTA会長になったことが始まりでした。子ども達の健全な活動を支援するには地域の理解や支援が必要ですが、地域コミュニティのつながりが薄くなっていると感じました。若者が参画しやすい地域活動を目指して取り組んでいます。新年度からは次男が通う総合支援学校のPTA会長を引き受けました。それにより5つほど役職が増えそうで大変ですが、地域と障害者とのつながりが深まるように活動していきます。妻もロータリアンで、ボランティア好きな家族です。

〈ひとこと〉妻と高校生の次女と3人で魚津市内で暮らしています。次女が二年前に不登校となり、今は富山市の定時制高校に通っています。実は私も訳あって高校を中退しており、娘と一緒に入学することにしました。当初は教員に間違えられたり、赤点も取りましたが、昨年10月に無事卒業しました。私は18歳から陸上自衛隊に入隊し、29年前の阪神淡路大震災の際は40日間の災害派遣活動を経験しました。その後、地元に戻った際に家族や地元の人たちと触れ合うことで故郷で何かがしたいと思い、今の職場で働いています。予備自衛官として今後、金沢駐屯地に支援に向かう予定ですが、ミラージュランドもお客様の安全を第一に考える遊園地にしたいと思います。

会長あいさつ 茶谷 勝会長



野澤様、永田様、本日は受賞おめでとうございます。職業を持って奉仕するというのがロータリーの大切な指針ですが、能登半島地震の被災地では様々な職業の方が色々な支援に尽力されています。魚津ではアイザックさんの呼びかけで官民協働、さまざまな団体の垣根を超えて連携し、活動

ができました。初めてのことで意義深いことでした。常々、今何ができるかを考え、仕事を通じてできること、自分ができる奉仕活動が続けていく必要があると思います。募金箱を設置していますが、これもひとつの奉仕の形です。少しづつでもご協力をお願いします。

出席報告

3380回 出席16名(80.0%)
3378回メイクアップ 愛宕君、稲盛君、澤崎君
68.4%→84.2%

幹事報告

- ◇国際ロータリー事務局より
・クラブ請求書
- ◇朝日ロータリークラブより
・IMキャラバンについて
・緊急会議の開催について

ニコボックス

- 茶谷君 野澤様、永田様受賞おめでとうございます。
- 岩崎君 野澤様、永田様ようこそ。
- 稲盛君 本日の受賞おめでとうございます。
- 西村君 職業奉仕受賞おめでとうございます。
- 青山君 魚津市医師会70周年記念誌を発行しました。「コロナ禍を体験して」の副題がついています。ご高覧ください。
- 川本君 28日は次女ありさの18歳の誕生日。Happy Birthdayありさ♥

会長あいさつ 茶谷 勝会長



1月30日に第一グループの会長会議が開かれました。能登半島地震の支援と3月のIMが議題でした。全国33地区から続々と義援金が集まっています。お金は被災したロータリアンへの見舞金や通常のロータリー活動を後押しする目的で使用されます。ロータリアンの人的被害は確認されていませ

んが、7地区の例会会場が使えない状況だそうです。同じ第一グループの仲間の支援に協力していきましょう。

出席報告

3381回 出席16名(80.0%)
3379回 中田君
65%→70%

Happy Birthday

吉森 勝代君 10年前の2月7日は大阪の母の通夜の日でした。大好きなお母ちゃんは良い言葉をたくさん遺してくれました。今は「幸せは家族そろって三度食うメシ」という言葉が能登半島地震の被災者の方を思うと重く心に響きます。お母ちゃんは子ども9人産んで96歳まで生きました。お母ちゃんのようにはなれないかもしれませんが、毎日の暮らしに感謝して生活していきたいと思います。



幹事報告

- ◇ガバナー事務所より
- ・インターアクト委員会委員就任について
 - ・ガバナーノミニー候補の告知について
 - ・ガバナーマンスリー
 - ・平和構築と紛争予防月間リソースの案内

ニコボックス

- 川本君 能登半島地震から一カ月が経ち、停電もひとくぎりつきました。今後の復興を祈ります。
- 稲盛君 IMキャラバンが来られました。皆さんIMIに参加しましょう。
- 吉森君 誕生祝
- 朝日・入善RC IM登録お願いいたします。

卓話：令和6年能登半島地震が及ぼした電力設備被害の状況

川本 吉伸君

能登半島地震の発災から1カ月が経ちました。能登地方の停電は約4万戸に及びました。北陸電力は翌日から復旧作業に多くの社員を動員し、新川支社からも30名を現地に派遣しました。協力会社を含め当社から約700名、全国の電力会社からも700名の応援を受け、常時1,000名体制で復旧にあたりました。道路が至るところで寸断され、被災現場までたどり着くことに困難を極めました。



多くの作業員は寝るところもトイレもなく、車中泊で作業にあたりました。作業の一部を動画をご覧ください。電柱は約2,000本が折れたり傾いたりする被害があり、電線も多くの場所で混線しました。傾いた電柱はそのまま部品を交換する応急処置で対応しました。1月末現在で約2,500戸に電気は届いていませんが、北陸電力としては「概ね復旧させた」という評価をしています。残る土砂崩れなどで立ち入りができない地域はもう少し時間がかかりそうです。過去の震災では熊本地震で3日、東日本大震災は津波被害の地域を除き1週間で停電は解消しました。今回は1カ月の時間を要し「北陸電力は何をしている」とお叱りも受けますが、半島ならではの地形や道路網が脆弱さ、過疎化で集落が点在していることが時間がかかる要因となりました。水道などのインフラも同様に大変だと思います。発電施設は主力である七尾大田火力発電所の石炭を運搬する「払出機」、「揚炭機」などの大型重機が倒壊し、運転再開まではかなりの時間がかかりそうです。草島や新湊の火電施設も一時運転を止めて補修したり、ハーフ運転などでやり繰りをしました。志賀原子力発電所は変圧器の故障や燃料貯蔵プールの水漏れなど、いくつかのトラブルが発生しました。また、情報発信にも少し混乱がありました。この地震の知見をもとに安全体制や避難計画などを一部見直ししていくことになると思います。北陸電力は「こころをひとつに能登」をスローガンに、被災された方々、関連会社や協力会社の皆さんと心をひとつにして復興に取り組んでいきます。

☆ I Mキャラバン来訪

3月23日に入善町で開催されるIM(インターシティー ミーティング)のキャラバンで朝日、入善ロータリークラブから佐渡ガバナー補佐、水下実行委員長らが来訪されました。能登半島地震で被災した七尾RCの神野バスターガバナーの基調講演も開かれます。

